



6月も最終週に入りました。今週末からは7月に入ります。ここ数日、真夏を思わせるほどの猛暑となっています。新型コロナウイルス感染症予防とあわせ、熱中症予防を心に留めながら教育活動を進めてまいります。さて、今号では、7月1日に32回目の開校記念日を迎えることから、開校当初に思いを馳せながら綴ってまいります。

32回目の 7月1日は開校記念日



学校設立の背景

本校は、帯広市西部地域の西帯広ニュータウン住宅街に位置しています。西帯広ニュータウンの開発は、昭和59年に始まり、緑地や水路の整備、またゆとりある宅地、歩行者保護を考えた道路整備などにより、閑静で快適な住環境が形づくられ、平成元年に完成しました。

本校に隣接する「帯広の森」は、豊かな自然と緑があふれ、市民農園や各種スポーツ施設（陸上競技場・野球場・屋内スピードスケート場・サッカー競技場・体育館・テニスコート・温水プールなど）も整備されており、教育条件が整っています。

こうした帯広の森造成の取り組みは、昭和50（1975）年から市民協働の森づくりとして進められ、本校は開校以来、毎年、6年生が育樹体験（開校当初は5・6年生が育樹祭等にも参加していました）に参加しています。

これらを背景に、本校は平成3年に西帯広ニュータウンの開発に伴い、同地区に以前からあった開西小学校の児童数が急増（平成2年度 1,172名37学級）し、この過密解消のため分離新設されました。校地面積は、27,587㎡で校舎は地上3階建て、半円形の多目的スペースが各階2カ所ずつ外部に飛び出しているところが、特徴的な造りとなっています。開校以来、児童数は劇的に増加し続け、平成8年には、982名となり帯広一のマンモス校となりましたが、この年を境に児童数は減少に転じ、現在は開校当時の児童数（610名）の半分以下となっています。ちなみに令和4年度は273名19学級で教育活動を展開しています。

（6月末現在）

本校の教育理念は？

自然や人間を思いやり、ふる里を愛する豊かな心と想像力をもち、21世紀をたくましく生き抜く児童を育成することです。

なぜ7月1日？

森の里小学校は3期にわたって工事が行われました。第1期の工事が終了し、平成3年4月1日に開校しましたが、第2期工事終了の6月29日をもって校舎完成としたことから、7月1日を開校記念日としています。

校名の意味は？

「緑あふれる、北のフロンティア都市」のシンボルである帯広の森に隣接し、自然あふれる快適な街並みが形成されている西帯広ニュータウンに建設された学校の位置を表し、21世紀を担う子ども達が、豊かな森の緑の中で元気に育ち、新しいふるさとを創り上げてくれることを願って命名されました。



～緑と笑顔あふれる森の里～

主体的に学びに向かい、考えを伝え合う子どもの育成を目指して ～「見通す」「振り返る」を充実し、「できた」が実感できる算数科の授業作り～

コロナ禍において、「子ども達の学びを止めないこと」が求められています。子ども達の学びを止めないためには「私たち教員も学びを止めないこと」が大切です。今年度は、～「見通す」「振り返る」を充実し、「できた」が実感できる算数科の授業作り～に主眼を置き、主体的に学びに向かい、考えを伝え合う子どもの育成に力を入れています。詳細は学校だよりN09をご覧ください。

校内授業研究

6月17日（金）に2年2組（学級担任は土田哲広教諭）で算数の授業研究を行いました。1年生の学習では100までの数を数えたり計算したりすることが中心でしたが、2年生のこの単元では、2けたのたし算やひき算の計算を「くり上がり」や「くり下がり」を使って計算ができることと、「くり上がり」や「くり下がり」を理解して説明できるようにすることに力を入れています。本授業では「10が10個で100に繰り上がる」ことを教科書のデジタルコンテンツ（クロームブック）を使って説明することを主眼にしました。クロームブックを使った一人学びからグループ交流、さらには全体交流を行うことで考えや理解を深めていました。

6月27日（月）には事後研修を行い、研究の視点でもある「見通しの充実」や「振り返りの充実」についても研修を深めました。



クロームブックを使った一人学びの様子



考えや理解を深めた全体交流



6.27 低学年ブロックでの事後研修の様子

今後も本校では研修部が主体となって、「見通す」「振り返る」を充実し、「できた」が実感できる算数科の授業作りを通して、主体的に学びに向かい、考えを伝え合う子どもの育成に力を注ぎます。

短い梅雨が明け、いよいよ夏本番へ！！ ～ 熱中症に対する情報をキャッチしよう～

昨日6月28日（火）、気象庁から北陸地方、近畿地方、中国地方、四国地方、九州北部地方の梅雨明けが発表されました。これで、東北地方を除いて梅雨明けが発表されたことになります。

今年は猛暑や水不足等が心配な夏となりそうです。

そこで、熱中症予防・対策については、6月24日18：00に市教委よりメール配信されました「みんなで防ごう！熱中症！」（右画像）や同日（6月24日）にお配りしました「ほけんだより ころもとからだ」（左画像）を今一度、お読みください。



今後、暑さが厳しくなります。「適度の水分補給」と「バランスのよい食事」をとるように心がけましょう。また、マスクの着用についても「ほけんだより ころもとからだ」の『夏のマスク生活について』をご覧ください。どうぞよろしくお願いたします。

おしらせ

今号のタイトルは、「菖蒲華（あやめはなさく）」（七十二候のうちの一つです）。

お米を作るには、豊かな水を必要とします。自然の恵みである雨を欲する農家では、あやめの開花を見て、梅雨の到来を知ったといわれています。池や川のなどに生える美しい花をただ見るだけでなく、先人達は自然の声を聞いて、次の支度をしてきました。私達も、身近な自然の声を一つでも多く聞こえるようになれたらいいですね。